

申請枠一覧画面上で、対象枠の[編集]ボタン押下すると、編集画面へ遷移します。

☐ メリット制適用有無

画面右上の[あて先]欄は、提出先の労働局の住所を入力してください。

No	労働局名	郵便番号	住所
1	北海道労働局	060-8566	札幌市北区北8条西2丁目1-1札幌第1合同庁舎
2	青森労働局	030-8558	青森市新町2丁目4-25青森合同庁舎
3	岩手労働局	020-8522	盛岡市盛岡駅西通1丁目9番15号盛岡第2合同庁舎5階
4	宮城労働局	983-8585	仙台市宮城野区鉄砲町1仙台第4合同庁舎
5	秋田労働局	010-0951	秋田市山王6丁目1-24山王セントラルビル6階
6	山形労働局	990-8567	山形市香澄町3丁目2番1号山交ビル3階
7	福島労働局	960-8513	福島市花園町5-46福島第二地方合同庁舎4階
8	茨城労働局	310-8511	水戸市宮町1丁目8-31
9	栃木労働局	320-0845	宇都宮市明保野町1-4宇都宮第2地方合同庁舎
10	群馬労働局	371-8567	前橋市大手町2丁目3-1前橋地方合同庁舎9階
11	埼玉労働局	330-6016	さいたま市中央区新都心11番地2
12	千葉労働局	260-8612	千葉市中央区中央4丁目11-1千葉第2地方合同庁舎
13	東京労働局	102-8305	千代田区九段南1-2-1九段第3合同庁舎12階
14	神奈川労働局	231-0015	横浜市中区尾上町5-77-2大和地所馬車道ビル9階
15	新潟労働局	950-8625	新潟市中央区美咲町1-2-1新潟美咲合同庁舎2号館3階
16	富山労働局	930-8509	富山市神通本町1丁目5番5号富山労働総合庁舎
17	石川労働局	920-0024	金沢市西念3丁目4-1金沢駅西合同庁舎5階
18	福井労働局	910-8559	福井市春山1丁目1-54福井春山合同庁舎14階
19	山梨労働局	400-8577	甲府市丸の内1丁目1-11
20	長野労働局	380-8572	長野市中御所1丁目22-1
21	岐阜労働局	500-8723	岐阜市金竜町5-13岐阜合同庁舎
22	静岡労働局	420-8639	静岡市葵区追手町9-50静岡地方合同庁舎
23	愛知労働局	460-0008	名古屋市中区栄2丁目3-1名古屋広小路ビルヂング
24	三重労働局	514-8524	津市島崎町327-2津第2地方合同庁舎3階
25	滋賀労働局	520-0806	大津市打出浜14番15号滋賀労働総合庁舎3階
26	京都労働局	604-0846	京都市中京区両替町通御池上ル金吹町451
27	大阪労働局	540-0028	大阪市中央区常盤町1丁目3-8中央大通F Nビル
28	兵庫労働局	650-0044	神戸市中央区東川崎町1丁目1-3神戸クリスタルタワー15階
29	奈良労働局	630-8570	奈良市法蓮町387奈良第3地方合同庁舎
30	和歌山労働局	640-8341	和歌山市黒田二丁目3番3号和歌山労働総合庁舎
31	鳥取労働局	680-8522	鳥取市富安2丁目89-9
32	島根労働局	690-0841	松江市向島町134-10松江地方合同庁舎5階
33	岡山労働局	700-8611	岡山市北区下石井1丁目4-1岡山第2合同庁舎
34	広島労働局	730-8538	広島市中区上八丁堀6-30広島合同庁舎第2号館
35	山口労働局	753-8510	山口市河原町6-16山口地方合同庁舎2号館
36	徳島労働局	770-0851	徳島市徳島町城内6-6徳島地方合同庁舎
37	香川労働局	760-0019	高松市サンポート3番33号高松サンポート合同庁舎3階
38	愛媛労働局	790-8538	松山市若草町4-3松山若草合同庁舎6階
39	高知労働局	781-0074	高知市南金田1-39高知労働総合庁舎
40	福岡労働局	812-0013	福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号福岡合同庁舎新館5階
41	佐賀労働局	840-0801	佐賀市駅前中央3丁目3-20佐賀第2合同庁舎
42	長崎労働局	850-0033	長崎市万才町7-1TBM長崎ビル4階
43	熊本労働局	860-0047	熊本市西区春日2丁目10番1号熊本地方合同庁舎9階
44	大分労働局	870-0037	大分市東春日町17-20大分第2ソフィアプラザビル
45	宮崎労働局	880-0805	宮崎市橘通東3-1-22宮崎合同庁舎2階
46	鹿児島労働局	892-8535	鹿児島市山下町13-21鹿児島合同庁舎2階
47	沖縄労働局	900-0006	那覇市おもろまち2丁目1番1号那覇第2地方合同庁舎3階

各項目を入力後、**[編集]ボタンを押下**してください。
入力内容のチェックを行い、問題があるとエラーが表示されますので、
エラー内容を修正後に再度[編集]ボタンを押下し、エラーが無い事を確認してください。

<<エラー発生時の画面例>>

年度更新 - 申告書編集

「労働保険年度更新申告書」の作成に必要な情報を入力・編集してください

(20)差引額／(イ)充当額 は必須です
(20)差引額／(ロ)還付額 は必須です

会社情報を更新する

種別

※修正項目番号

※入力確定コード

32701

(項1)

(1)労働保険番号

※

最近納税 所掌 管轄 基幹番号

基幹番号

9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 - 9 9

※各種区分

管轄(2) 保険関係等 業種

産業分類

あて先 222 - 0011

例:(222)-(0011)

郵便番号から自動入力

エラーが無いと下図のような画面が表示されます。

年度更新 - 申告書編集

「労働保険年度更新申告書」の作成に必要な情報を入力・編集してください

年度更新申請枠「令和6年度労働保険年度更新」の申告書を更新しました

会社情報を更新する

種別

※修正項目番号

※入力確定コード

32701

(項1)

(1)労働保険番号

※

最近納税 所掌 管轄 基幹番号

基幹番号

9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 - 9 9

※各種区分

管轄(2) 保険関係等 業種

産業分類

あて先 222 - 0011

例:(222)-(0011)

郵便番号から自動入力

入力内容チェック後、**[確定]ボタンを押下**してください。
入力内容以外の電子申請に必要な情報(会社情報や事業所情報)のチェックを行い、
問題があるとエラーが表示されますので、エラー内容を修正後に再度**[確定]ボタンを押下**してください。

<<エラー発生時の画面例>>

年度更新 - 申告書編集

「労働保険年度更新申告書」の作成に必要な情報を入力・編集してください

労働保険事業情報：労働保険番号（所掌）は1または3を入力してください
(25)事業又は作業の種類 は必須です
「(26)加入している労働保険」は「(イ) 労災保険」もしくは「(ロ) 雇用保険」のいずれかを選択する必要があります

会社情報を更新する

種別

※修正項目番号

※入力確定コード

32701

(項1)

(1)労働保険番号

※

最近納税 所掌 管轄 基幹番号

基幹番号

9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 - 9 9

※各種区分

管轄(2) 保険関係等 業種

産業分類

あて先 222 - 0011

例:(222)-(0011)

郵便番号から自動入力

年度更新 - 申告書編集

会社および事業情報の更新を
実行しますか？

閉じる 実行する

年度更新 - 申告書編集

「労働保険年度更新申告書」の作成に必要な情報を入力・編集してください

会社および事業情報を更新しました

会社情報を更新する

種別 ※修正項目番号 ※入力確定コード

32701 (項1)

(1)労働保険番号★

都道府県	市町村	支庁	基本番号										
補番号													
1	2	1	1	2	6	5	4	3	2	1	-	1	2
3													

(項2)

※各欄区分

労働(2)	保険関係等	業種
産業分類		

あて先★ 〒 222 - 0011

例:(222)-(0011)

郵便番号から自動入力

住所★

神奈川県横浜市港北区菊名

(2)増加年月日

(項3)

(3)事業廃止等年月日

(項4)

(4)※事業廃止等理由

(項5)

要出先労働局★

神奈川労働局

労働保険特別会計歳入徴収官様

■ 参考

行政から提示されている入力チェック内容を参考までに掲載します。
[編集]ボタン押下時にエラーが発生する場合、こちらの内容を参考にしてください。

※ [項番]列は、内部No.となりますので、連番になっておりません。
文中に"項番〇〇"との記載がある場合、この列の番号を確認してください。

表のNo.	項番	項目名	チェック内容	補足	入力条件	エラーメッセージ
1	15	あて先郵便番号の配達局番号	項番15と項番16にて、1項目でも記載がある場合はすべて記載が必要			
2	16	あて先郵便番号の町域番号	項番15と項番16にて、1項目でも記載がある場合はすべて記載が必要			
3	22	労働保険番号の所掌	1または3を入力 また、労働保険番号の基幹番号(項番24)に入力がある、かつ、800000≦労働保険番号の基幹番号(項番24)の値≦899999 の場合、労働保険番号の所掌(項番22)の値が1でないこと		1または3以外	下記のエラーメッセージを表示する労働保険番号(所掌) は1または3を入力してください
4	22	労働保険番号の所掌			労働保険番号の基幹番号(項番24)に入力がある、かつ、800000≦労働保険番号の基幹番号(項番24)の値≦899999 の場合、労働保険番号の所掌(項番22)の値が1	労働保険番号(所掌) は3を入力してください
5	29	各種区分の業種		数字は半角として記載する。 (特01～特180000～9999)		
6	42	常時使用労働者数	各種区分の保険関係等(項番28)が111の場合、常時使用労働者数(項番42)に記入があること		各種区分の保険関係等(項番28)が111の場合、常時使用労働者数(項番42)が未記入	(4)常時使用労働者数 は必須です
7	43	雇用保険被保険者数	各種区分の保険関係等(項番28)が111の場合、雇用保険被保険者数(項番43)に記入があること		各種区分の保険関係等(項番28)が111の場合、雇用保険被保険者数(項番43)が未記入	(5)雇用保険被保険者数 は必須です
8	50	確定保険料算定内訳の算定開始年月日の年		前年度の和暦年を初期値として記載する。		
9	55	確定保険料算定内訳の算定終了年月日の年		今年度の和暦年を初期値として記載する。		
10	58	確定保険料算定内訳のメット区分		以下のとおり記載する。 郵送した申告書(※)に「メット」印字なし：0 郵送した申告書(※)に「メット」印字あり：1 ※ メットに該当する場合、郵送する申告書の確定保険料算定内訳の「⑨ 保険料・一般拠出金率」に「メット」が記載される。		
11	59	確定保険料算定内訳の労働算定額	▼：「▼」が設定されている項目間で入力データがひとつ以上設定されていることが必要 確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値が異なる場合、確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)に記入がないこと 確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に同時に記入がないこと 確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)に同時に記入がないこと		▼：「▼」が設定されている項目間で入力データがひとつ以上設定されていない	確定保険料算定内訳／労働保険料／(8)(イ)保険料・一般拠出金算定基礎額、確定保険料算定内訳／労災保険分／(10)(ロ)確定保険料・一般拠出金額、確定保険料算定内訳／雇用保険分／(10)(ホ)確定保険料・一般拠出金額のいずれがひとつ以上の入力が必要です
12	59	確定保険料算定内訳の労働算定額			確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値が異なる場合、確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)に記入がある	確定保険料算定内訳／労働保険料／(8)(イ)保険料・一般拠出金算定基礎額は入力できません
13	59	確定保険料算定内訳の労働算定額			確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に同時に記入がある	確定保険料算定内訳／労働保険料／(8)(イ)保険料・一般拠出金算定基礎額と確定保険料算定内訳／労災保険分／(10)(ロ)確定保険料・一般拠出金額は同時に入力できません
14	59	確定保険料算定内訳の労働算定額			確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)に同時に記入がある	確定保険料算定内訳／労働保険料／(8)(イ)保険料・一般拠出金算定基礎額と確定保険料算定内訳／雇用保険分／(10)(ホ)確定保険料・一般拠出金額は同時に入力できません

15	61	確定保険料算定内訳の労働保険料額		<p>計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。</p> <p>確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番60)の両方に入力がある場合、 確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)の値×確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番60)の値(計算結果の小数点以下切捨て)</p> <p>確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番60)のいずれかが空の場合、 確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)の値+確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)の値</p>	<p>確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番60)の両方に入力がある場合、下記の計算結果と等しくない</p> <p>確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)の値×確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番60)の値(計算結果の小数点以下切捨て)</p>	確定保険料算定内訳／労働保険料／(10)(イ)確定保険料・一般拠出金額が正しくありません
16	61	確定保険料算定内訳の労働保険料額			<p>確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番60)のいずれかが空の場合、下記の計算結果と等しくない</p> <p>確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)の値+確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)の値</p>	確定保険料算定内訳／労働保険料／(10)(イ)確定保険料・一般拠出金額が正しくありません
17	62	確定保険料算定内訳の労災算定額	各種区分の保険関係等(項番28)が111、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に記入がある場合、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入があること		各種区分の保険関係等(項番28)が111、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に記入がある場合、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)が未記入	確定保険料算定内訳／労災保険料／(8)(ロ)保険料・一般拠出金算定基礎額は必須です
18	63	確定保険料算定内訳の労災保険料率	<p>確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入がある場合、郵送した申告書の値と申請された値が数値として同じであること ただし、「***.***」や「H」の印字がある場合は空欄であること</p>	<p>「***.***」や「H」の印字がある場合は記載しない。 前年度メリット増減率の場合は以下のとおり記載する。 (例1)「±0%」の印字がある場合:「±0%」(「±」は全角文字、「0」及び「%」は半角文字) (例2)「+10%」の印字がある場合:「+10%」(全て半角文字) (例3)「-10%」の印字がある場合:「-10%」(全て半角文字) 前年度メリット増減率が記載されている場合は数字内容チェックは行わない。</p>		
19	64	確定保険料算定内訳の労災保険料額	<p>▼:「▼」が設定されている項目間で入力データがひとつ以上設定されていることが必要</p> <p>確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値が同じである場合・確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に記入がないこと</p> <p>確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に同時に記入がないこと</p>	<p>計算式に含まれる項目が未入力、または確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または前年度メリット増減率(項番63)の値が前年度メリット増減率の場合、四則演算を行わない。</p> <p>確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)と確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または前年度メリット増減率(項番63)の両方に入力がある場合、 確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値×確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または前年度メリット増減率(項番63)の値(計算結果の小数点以下切捨て)</p>	<p>▼:「▼」が設定されている項目間で入力データがひとつ以上設定されていない</p>	<p>確定保険料算定内訳／労働保険料／(8)(イ)保険料・一般拠出金算定基礎額、確定保険料算定内訳／労災保険分／(10)(ロ)確定保険料・一般拠出金額、確定保険料算定内訳／雇用保険分／(10)(ホ)確定保険料・一般拠出金額のいずれかひとつ以上の入力が必要です</p>
20	64	確定保険料算定内訳の労災保険料額			<p>確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値が同じである場合、確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に記入がある</p>	<p>確定保険料算定内訳／労災保険分／(10)(ロ)確定保険料・一般拠出金額の入力は不要です</p>
21	64	確定保険料算定内訳の労災保険料額			<p>確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に同時に記入がある</p>	<p>確定保険料算定内訳／労災保険分／(10)(ロ)確定保険料・一般拠出金額の入力は不要です</p>
22	64	確定保険料算定内訳の労災保険料額			<p>確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)と確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または前年度メリット増減率(項番63)の両方に入力がある場合、下記の計算結果と等しくない</p> <p>確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値×確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または前年度メリット増減率(項番63)の値(計算結果の小数点以下切捨て)</p>	<p>確定保険料算定内訳／労災保険分／(10)(ロ)確定保険料・一般拠出金額の入力が正しくありません</p>
		確定保険料算定内訳の対象者算定額	確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある場合、		<p>確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある場合、</p>	<p>確定保険料算定内訳／雇用保険分／(8)(ホ)保険料・一般拠出金算定基礎額の入力は不要です</p>

23	70		用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値が同じである場合 ・確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がないこと。 各種区分の保険関係等(項番28)が111、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)に記入がある場合 ・確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入があること		ある、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値が同じである場合、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある	出玉算定基礎額の入力は不要です
24	70	確定保険料算定内訳の対象者算定額			各種区分の保険関係等(項番28)が111、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)に記入がある場合、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)が未記入	確定保険料算定内訳／雇用保険分／(8)(木)保険料・一般拠出金算定基礎額は必須です
25	72	確定保険料算定内訳の対象者保険料額	▼：「▼」が設定されている項目間で入力データがひとつ以上設定されていることが必要 確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値が同じである場合 ・確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)に記入がないこと 確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)に同時に記入がないこと	計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番71)の両方に入力がある場合、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値×確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番71)の値(計算結果の小数点以下四捨捨)	▼：「▼」が設定されている項目間で入力データがひとつ以上設定されていない	確定保険料算定内訳／労働保険料／(8)(イ)保険料・一般拠出金算定基礎額、確定保険料算定内訳／労災保険分／(10)(ロ)確定保険料・一般拠出金額、確定保険料算定内訳／雇用保険分／(10)(木)確定保険料・一般拠出金額のいずれがひとつ以上入力が必要で
26	72	確定保険料算定内訳の対象者保険料額			確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)に記入がある、かつ、確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値が同じである場合、確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)に記入がある	確定保険料算定内訳／雇用保険分／(10)(木)確定保険料・一般拠出金額の入力は不要です
27	72	確定保険料算定内訳の対象者保険料額			確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)と確定保険料算定内訳の雇用保険分の確定保険料額(項番72)に同時に記入がある	確定保険料算定内訳／雇用保険分／(10)(木)確定保険料・一般拠出金額の入力は不要です
28	72	確定保険料算定内訳の対象者保険料額			確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)と確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番71)の両方に入力がある場合、下記の計算結果と等しくない 確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額(項番70)の値×確定保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番71)の値(計算結果の小数点以下四捨捨)	確定保険料算定内訳／雇用保険分／(10)(木)確定保険料・一般拠出金額の入力が正しくありません。
29	74	拠出金の一般拠出金算定額	一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値が1以上である場合、確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)の値もしくは確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と同じであること 各種区分の保険関係等(項番28)が111、かつ、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)に記入がある場合、一般拠出金の拠出金算定基礎額(項番74)に記入があること		一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値が1以上である場合、確定保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額(項番59)の値もしくは確定保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額(項番62)の値と同じではない	一般拠出金／(8)(ハ)保険料・一般拠出金算定基礎額の入力内容が正しくありません
30	74	拠出金の一般拠出金算定額			各種区分の保険関係等(項番28)が111、かつ、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)に記入がある場合、一般拠出金の拠出金算定基礎額(項番74)が未記入	一般拠出金／(8)(ハ)保険料・一般拠出金算定基礎額は必須です
31	76	一般拠出金額	事業廃止等年月日(項番36)の値が拠出金の判定年月日(平成19年4月1日)より前である場合、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)に記入が無い、または0であること 以下のいずれにも該当しない場合、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)に記入があること ・各種区分の産業分類(項番30)が96 ・各種区分の保険関係等(項番28)が511または771 ・各種区分の保険関係等(項番28)が711で、確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に記入がない、または0	計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 一般拠出金の拠出金算定基礎額(項番74)と一般拠出金の拠出金率(項番75)の両方に入力がある場合、一般拠出金の拠出金算定基礎額(項番74)の値×一般拠出金の拠出金率(項番75)の値(計算結果の小数点以下四捨捨)	事業廃止等年月日(項番36)の値が拠出金の判定年月日(平成19年4月1日)より前である場合、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)に記入が無い、または0であること	
32	74	拠出金の一般拠出金算定額			以下のいずれにも該当しない場合、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)が未記入 ・各種区分の産業分類(項番30)が96 ・各種区分の保険関係等(項番28)が511または771 ・各種区分の保険関係等(項番28)が711で、確定保険料算定内訳の労災保険分の確定保険料額(項番64)に記入がない、または0	一般拠出金／(10)(ハ)確定保険料・一般拠出金額は必須です

33	74	拠出金の一般拠出金算定額			一般拠出金の拠出金算定基礎額(項番74)と一般拠出金の拠出金率(項番75)の両方に入力がある場合、下記の計算結果と等しくない 一般拠出金の拠出金算定基礎額(項番74)の値×一般拠出金の拠出金率(項番75)の値(計算結果の小数点以下切捨て)	一般拠出金／(10)(ハ)確定保険料・一般拠出金額の入力が正しくありません
34	80	概算保険料算定内訳の算定開始年月日の年		今年度の和暦年を初期値として記載する。		
35	85	概算保険料算定内訳の算定終了年月日の年		次年度の和暦年を初期値として記載する。		
36	88	概算保険料算定内訳のメリット区分		以下のとおり記載する。 郵送した申告書(※)に「メリット」印字なし: 0 郵送した申告書(※)に「メリット」印字あり: 1 ※ メリットに該当する場合、郵送する申告書の概算・増加概算保険料算定内訳の「③保険料率」に「メリット」が印字される。		
37	89	概算保険料算定内訳の労働算定額	事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がない場合、概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)、概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)、概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)のいずれか一つ以上に記入があること 事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がある場合、概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)に記入がないこと 概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)の値と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)の値が異なる場合、概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)に記入がないこと 概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)に同時に記入がないこと 概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)に同時に記入がないこと		事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がない場合、概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)、概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)、概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)のいずれか一つ以上に記入がない	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)保険料算定基礎額の見込額、概算・増加概算保険料算定内訳／労災保険分／(14)(ロ)概算・増加概算保険料額、概算・増加概算保険料算定内訳／雇用保険分／(14)(ホ)概算・増加概算保険料額のいずれか一つ以上の入力が必要です
38	89	概算保険料算定内訳の労働算定額			概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)の値と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)の値が異なる場合、概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)に記入がある	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)保険料算定基礎額の見込額の入力は不要です
39	89	概算保険料算定内訳の労働算定額			概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)に同時に記入がある	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)保険料算定基礎額と概算・増加概算保険料算定内訳／労災保険分／(14)(ロ)概算・増加概算保険料額は同時に入力できません
40	89	概算保険料算定内訳の労働算定額			概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)に同時に記入がある	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)保険料算定基礎額と概算・増加概算保険料算定内訳／雇用保険分／(14)(ホ)概算・増加概算保険料額は同時に入力できません
41	91	概算保険料算定内訳の労働保険料額	計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番90)の両方に入力がある場合、概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)の値×概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番90)の値(計算結果の小数点以下切捨て) 概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番90)のいずれかが空の場合、概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)の値＋概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)の値		概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番90)の両方に入力がある場合、下記の計算結果と等しくない 概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)の値×概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番90)の値(計算結果の小数点以下切捨て)	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(14)(イ)概算・増加概算保険料額が正しくありません
		概算保険料算定内訳の労働保険料額			概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料率(項番90)の両方に入力がある場合、下記の計算結果と等しくない	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(14)(イ)概算・増加概算保険料額が正しくありません

42	91				保険料率(項番99)のいずれかが空の場合、下記の計算結果と等しくない	ありません
43	93	概算保険料算定内訳の 労災保険料率	概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)に記入がある場合、郵送した申告書の値と申請された値が数値として同じであること ただし、「***.***」や「H」の印字がある場合は空欄であること	「***.***」や「H」の印字がある場合は記載しない。 当年度メリット増減率の場合は以下のとおり記載する。 (例1)「±0%」の印字がある場合:「±0%」 (「±」は全角文字、「0」及び「%」は半角文字) (例2)「+10%」の印字がある場合:「+10%」(全て半角文字) (例3)「-10%」の印字がある場合:「-10%」(全て半角文字) 当年度メリット増減率が記載されている場合は数字内容チェックは行わない。		
44	94	概算保険料算定内訳の 労災保険料率	事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がない場合、 概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)、概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)、概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)のいずれか一つ以上に記入があること 事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がある場合、 ・概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)に記入がないこと 概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)の値と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)の値が同じである場合 ・概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)に記入がないこと 概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)に同時に記入がないこと	計算式に含まれる項目が未入力、または概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または当年度メリット増減率(項番93)の値が当年度メリット増減率の場合、四則演算を行わない。 概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)と概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または当年度メリット増減率(項番93)の値×概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または当年度メリット増減率(項番93)の値(計算結果の小数点以下切捨て)	事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がない場合、概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)、概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)、概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)のいずれか一つ以上に記入がない	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)保険料算定基礎額の見込額、概算・増加概算保険料算定内訳／労災保険分／(14)(ロ)概算・増加概算保険料額、概算・増加概算保険料算定内訳／雇用保険分／(14)(ホ)概算・増加概算保険料額のいずれか一つ以上の入力が必要です
45	94	概算保険料算定内訳の 労災保険料率			概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)の値と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)の値が同じである場合、概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)に記入がある	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)概算・増加概算保険料額の入力是不要です
46	94	概算保険料算定内訳の 労災保険料率			概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)に同時に記入がある	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)保険料算定基礎額と概算・増加概算保険料算定内訳／労災保険分／(14)(ロ)概算・増加概算保険料額は同時に入力できません
47	94	概算保険料算定内訳の 労災保険料率			計算式に含まれる項目が未入力、または概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料率または当年度メリット増減率(項番93)の値が当年度メリット増減率の場合、四則演算を行わない。 概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)と概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または当年度メリット増減率(項番93)の両方に入力がある場合、下記の計算結果と等しくない 概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)の値×概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料率または当年度メリット増減率(項番93)の値(計算結果の小数点以下切捨て)	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)概算・増加概算保険料額の入力 が正しくありません
		概算保険料算定内訳の 雇用保険料額	事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がない場合、 概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)、概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)、概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)のいずれか一つ以上に記入があること 事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がある場合、 ・概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)に記入がないこと 概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率または当年度メリット増減率(項番93)の値×概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番98)の両方に入力がある場合、 概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番98)の値×概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番98)の値(計算結果の小数点以下切捨て)	計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番98)の両方に入力がある場合、 概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)の値×概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番98)の値(計算結果の小数点以下切捨て)	事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がない場合、概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)、概算保険料算定内訳の労災保険分の概算保険料額(項番94)、概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)のいずれか一つ以上に記入がない	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)保険料算定基礎額の見込額、概算・増加概算保険料算定内訳／労災保険分／(14)(ロ)概算・増加概算保険料額、概算・増加概算保険料算定内訳／雇用保険分／(14)(ホ)概算・増加概算保険料額のいずれか一つ以上の入力が必要です

48	99		内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)の値と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)の値が同じである場合 ・概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)に記入がないこと 概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)に同時に記入がないこと			
49	99	概算保険料算定内訳の雇用保険料額			概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)に記入がある、かつ、概算保険料算定内訳の労災保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番92)の値と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)の値が同じである場合、概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)に記入がある	概算・増加概算保険料算定内訳／雇用保険分／(14)(木)概算・増加概算保険料額の入力 は不要です
50	99	概算保険料算定内訳の雇用保険料額			概算保険料算定内訳の労働保険料の保険料算定基礎額の見込額(項番89)と概算保険料算定内訳の雇用保険分の概算保険料額(項番99)に同時に記入がある	概算・増加概算保険料算定内訳／労働保険料／(12)(イ)保険料算定基礎額と概算・増加概算保険料算定内訳／雇用保険分／(14)(木)概算・増加概算保険料額は同時に入力できません
51	99	概算保険料算定内訳の雇用保険料額			概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)と概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番98)の両方に入力がある場合、下記の計算結果と等しくない 概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料算定基礎額の見込額(項番97)の値×概算保険料算定内訳の雇用保険分の保険料率(項番98)の値(計算結果の小数点以下切捨て)	概算・増加概算保険料算定内訳／雇用保険分／(14)(木)概算・増加概算保険料額の入力 が正しくありません
52	101	配達局番号	項番101と項番102にて、1項目でも記載がある場合はすべて記載が必要			
53	102	町域番号	項番101と項番102にて、1項目でも記載がある場合はすべて記載が必要			
54	104	市外局番	項番104と項番105と項番106にて、1項目でも記載がある場合はすべて記載が必要			
55	105	市内局番	項番104と項番105と項番106にて、1項目でも記載がある場合はすべて記載が必要			
56	106	加入者番号	項番104と項番105と項番106にて、1項目でも記載がある場合はすべて記載が必要			
57	107	納付回数		事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がある場合、納付回数(項番107)に記入がないこと 加入している労働保険の労災(項番134)、および加入している労働保険の雇用(項番135)の両方を選択している、かつ概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)<400000(40万円未満)の場合、納付回数(項番107)に「3」の記入がないこと 加入している労働保険の労災(項番134)、および加入している労働保険の雇用(項番135)のいずれかを選択している、かつ概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)<200000(20万円未満)の場合、納付回数(項番107)に「3」の記入がないこと		
58	113	充当額	還付額(項番114)との合計が申告済概算保険料額(項番112)-確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61)と等しいこと 充当意思(項番271)が未入力、または1の場合で、かつ充当額が概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)より大きい場合は概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)であること 充当意思(項番271)が2の場合で、かつ充当額が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)より大きい場合は一般拠出金の一般拠出金額(項番76)であること 充当意思(項番271)が3の場合で、かつ充当額が概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91) + 一般拠出金の一般拠出金額(項番76)より大きい場合は概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91) + 一般拠出金の一般拠出金額(項番76)であること 0以上であること	計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 申告済概算保険料額(項番112) - 確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61)の計算結果が0未満の場合は0とする。 上記以外の場合、申告済概算保険料額(項番112) - 確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61) - 還付額(項番114)の値	下記の計算結果と等しくない 還付額(項番114)との合計が申告済概算保険料額(項番112)-確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61) ---下記特記事項と同じ内容--- 上記以外の場合、申告済概算保険料額(項番112) - 確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61) - 還付額(項番114)の値	(20)差引額／(イ)充当額が正しくありません
59	113	充当額			充当意思(項番271)が未入力、または1の場合で、かつ充当額が概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)より大きい場合は、概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)でない	(20)差引額／(イ)充当額が正しくありません
60	113	充当額			充当意思(項番271)が2の場合で、かつ充当額が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)より大きい場合は、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)でない	(20)差引額／(イ)充当額が正しくありません
		充当額			充当意思(項番271)が3の場合で、かつ充当額が概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91) +	(20)差引額／(イ)充当額が正しくありません

61	113				一般拠出金の一般拠出金額（項番76）より大きい場合は、下記の計算結果と等しくない 概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額（項番91）＋一般拠出金の一般拠出金額（項番76）であること	
62	113	充当額			0以上であること	
63	114	還付額	充当額(項番113)との合計が申告済概算保険料額(項番112)-確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61)と等しいこと 0以上であること	計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 申告済概算保険料額（項番112）－確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額（項番61）の計算結果が0未満の場合は0とする。 上記以外の場合、申告済概算保険料額（項番112）－確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額（項番61）－充当額（項番113）の値	充当額(項番113)との合計が申告済概算保険料額(項番112)-確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61)と等しくない	(20)差引額／(ロ)還付額が正しくありません
64	114	還付額			0以上であること	
65	115	不足額		計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61)と申告済概算保険料額(項番112)に入力がある場合、確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61)－申告済概算保険料額(項番112)の値ただし、計算結果が0未満の場合は0とする。	確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61)と申告済概算保険料額(項番112)に入力がある場合、下記の計算結果と等しくない 確定保険料算定内訳の労働保険料の確定保険料額(項番61)－申告済概算保険料額(項番112)の値ただし、計算結果が0未満の場合は0とする。	(20)差引額／(ハ)不足額が正しくありません
66	117	第1期の概算保険料額	事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がある場合、全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の記入がないこと 事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がない場合、全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の記入があること	計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)－((概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)÷納付回数(項番107)の計算結果の小数点以下切捨て)×(納付回数(項番107)－1)) ただし、事業廃止等年月日が入力されている場合、四則演算を行わない。	事業廃止等年月日の年号(項番37)に記入がない場合、全期又は第1期の概算保険料額(項番117)が未記入	(22)期別納付額／全期又は第1期／(イ)概算保険料額は必須です
67	117	第1期の概算保険料額			下記の計算結果と等しくない 概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)－((概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)÷納付回数(項番107)の計算結果の小数点以下切捨て)×(納付回数(項番107)－1))	(22)期別納付額／全期又は第1期／(イ)概算保険料額が正しくありません
68	118	第1期の労働保険料充当額		充当意思(項番271)が未入力、または1、または3の場合で、充当額(項番113)の値が全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の値より小さい場合、充当額(項番113)の値を記載する。 また、充当額(項番113)の値が全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の値より大きい場合、全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の値を記載する。 ただし、計算結果が0未満の場合は0とする。 充当意思(項番271)が2の場合、0を記載する。 計算式に含まれる項目が未入力、または第1期の概算保険料額(項番117)の値が負の場合、0を記載する。	充当意思(項番271)が未入力、または1、または3の場合で、充当額(項番113)の値が全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の値より小さい場合、充当額(項番113)の値より小さい場合、充当額(項番113)の値と等しくない	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ロ)労働保険料充当額が正しくありません。
69	118	第1期の労働保険料充当額			また、充当額(項番113)の値が全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の値より大きい場合、全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の値と等しくない	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ロ)労働保険料充当額が正しくありません
70	118	第1期の労働保険料充当額			充当意思(項番271)が2の場合、0以外	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ロ)労働保険料充当額に0を入力してください
71	118	第1期の労働保険料充当額			計算式に含まれる項目が未入力、または第1期の概算保険料額(項番117)の値が負の場合、0以外	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ホ)一般拠出金充当額に0を入力してください
72	119	第1期の不足額		不足額(項番115)の値を記載する。		
73	120	第1期の今期労働保険料		計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の値－全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値＋全期又は第1期の不足額(項番119)の値	下記の計算結果と等しくない 全期又は第1期の概算保険料額(項番117)の値－全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値＋全期又は第1期の不足額(項番119)の値	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ニ)今期労働保険料が正しくありません
		第1期の一般拠出金充当額		充当意思(項番271)が2の場合で、充当額(項番113)の値が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値より小さい場合、充当額(項番113)の値を記載する。 また、充当額(項番113)の値が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値より大きい場合、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値を記載する。 充当意思(項番271)が3の場合で、充当額(項番113)の値－全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値より小さい場合、充	充当意思(項番271)が2の場合で、充当額(項番113)の値が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値より小さい場合、充当額(項番113)の値と等しくない	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ホ)一般拠出金充当額が正しくありません

74	121			<p>当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値を記載する。</p> <p>また、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値より大きい場合、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値を記載する。</p> <p>ただし、計算結果が0未満の場合は0とする。</p> <p>充当意思(項番271)が未入力、または1の場合、0を記載する。</p> <p>一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値が未入力の場合、0を記載する。</p>		
75	121	第1期の一般拠出金充当額			<p>充当意思(項番271)が2の場合で、充当額(項番113)の値が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値より大きい場合、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値と等しくない</p>	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ホ)一般拠出金充当額が正しくありません
76	121	第1期の一般拠出金充当額			<p>充当意思(項番271)が3の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値より小さい場合、下記の計算結果と等しくない</p> <p>充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値</p>	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ホ)一般拠出金充当額が正しくありません
77	121	第1期の一般拠出金充当額			<p>充当意思(項番271)が3の場合で、また、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値が一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値より大きい場合、一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値と等しくない</p>	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ホ)一般拠出金充当額が正しくありません
78	121	第1期の一般拠出金充当額			<p>充当意思(項番271)が未入力、または1の場合、0以外</p>	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ホ)一般拠出金充当額に0を入力してください
79	121	第1期の一般拠出金充当額			<p>一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値が未入力の場合、0以外</p>	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ホ)一般拠出金充当額に0を入力してください
80	122	第1期の一般拠出金額		<p>一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値を記載する。</p> <p>一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値が未入力の場合、0を記載する。</p>	<p>下記の計算結果と等しくない</p> <p>一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値</p>	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ヘ)一般拠出金額が正しくありません
81	122	第1期の一般拠出金額			<p>一般拠出金の一般拠出金額(項番76)の値が未入力の場合、0以外</p>	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ヘ)一般拠出金額に0を入力してください
82	123	第1期の今期納付額		<p>計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。</p> <p>全期又は第1期の今期労働保険料(項番120) + 全期又は第1期の一般拠出金(項番122)の値</p>	<p>下記の計算結果と等しくない</p> <p>全期又は第1期の今期労働保険料(項番120) + 全期又は第1期の一般拠出金(項番122)の値</p>	(22)期別納付額／全期又は第1期／(ト)今期納付額が正しくありません。
83	125	第2期の概算保険料額		<p>概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)が未入力の場合、四則演算を行わない。</p> <p>概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)÷納付回数(項番107) (計算結果の小数点以下切捨て)</p> <p>ただし、納付回数が「空欄」もしくは1の場合は0を設定する</p> <p>事業廃止等年月日が入力されている場合、四則演算を行わない。</p>	<p>下記の計算結果と等しくない</p> <p>概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)÷納付回数(項番107) (計算結果の小数点以下切捨て)</p>	(22)期別納付額／第2期／(チ)概算保険料額が正しくありません
84	125	第2期の概算保険料額			<p>ただし、納付回数が「空欄」もしくは1の場合は0</p>	(22)期別納付額／第2期／(チ)概算保険料額に0を入力してください
85	126	第2期の労働保険料充当額		<p>計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。</p> <p>充当意思(項番271)が未入力、または1の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値が、第2期の概算保険料額(項番125)の値より小さい場合、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値を記載する。</p> <p>また、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値が、第2期の概算保険料額(項番125)の値より大きい場合、第2期の概算保険料額(項番125)の値を記載する。</p> <p>充当意思(項番271)が3の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値が、第2期の概算保険料額(項番125)の値より小さい場合、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値を記載する。</p> <p>また、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値が、第2期の概算保険料額(項番125)の値より大きい場合、第2期の概算保険料額(項番125)の値を記載する。</p>	<p>充当意思(項番271)が未入力、または1の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値が、第2期の概算保険料額(項番125)の値より小さい場合、下記の計算結果と等しくない</p> <p>充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値</p>	(22)期別納付額／第2期／(リ)労働保険料充当額が正しくありません

				ただし、計算結果が0未満の場合は0とする。 充当意思(項番271)が2の場合、0を記載する。		
86	126	第2期の労働保険料充当額			充当意思(項番271)が未入力、または1の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値が、第2期の概算保険料額(項番125)の値より大きい場合、第2期の概算保険料額(項番125)の値と等しくない	(22)期別納付額／第2期／(リ)労働保険料充当額が正しくありません
87	126	第2期の労働保険料充当額			充当意思(項番271)が3の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値が、第2期の概算保険料額(項番125)の値より小さい場合、下記の計算結果と等しくない 充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値	(22)期別納付額／第2期／(リ)労働保険料充当額が正しくありません
88	126	第2期の労働保険料充当額			充当意思(項番271)が3の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値が、第2期の概算保険料額(項番125)の値より大きい場合、第2期の概算保険料額(項番125)の値と等しくない	(22)期別納付額／第2期／(リ)労働保険料充当額が正しくありません
89	126	第2期の労働保険料充当額			充当意思(項番271)が2の場合、0以外	(22)期別納付額／第2期／(リ)労働保険料充当額に0を入力してください
90	127	第2期の納付額		計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 第2期の概算保険料額(項番125)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値	下記の計算結果と等しくない 第2期の概算保険料額(項番125)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値	(22)期別納付額／第2期／(ス)第2期納付額が正しくありません
91	129	第3期の概算保険料額		概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)が未入力の場合、四則演算を行わない。ただし、 概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)÷納付回数(項番107) (計算結果の小数点以下切捨て) ただし、納付回数が「空欄」もしくは1の場合は0を設定する。 事業廃止等年月日が入力されている場合、四則演算を行わない。	下記の計算結果と等しくない 概算保険料算定内訳の労働保険料の概算保険料額(項番91)÷納付回数(項番107) (計算結果の小数点以下切捨て)	(22)期別納付額／第3期／(ル)概算保険料額が正しくありません
92	129	第3期の概算保険料額			ただし、納付回数が「空欄」もしくは1の場合は0以外	(22)期別納付額／第3期／(ル)概算保険料額に0を入力してください
93	130	第3期の労働保険料充当額		計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。 充当意思(項番271)が未入力、または1の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値が、第3期の概算保険料額(項番129)の値より小さい場合、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値を記載する。 また、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値より大きい場合、第3期の概算保険料額(項番129)の値を記載する。 充当意思(項番271)が3の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 第2期の一般拠出金充当額(項番121)の値が、第3期の概算保険料額(項番129)の値より小さい場合、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 第2期の一般拠出金充当額(項番121)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値を記載する。 また、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値が、第3期の概算保険料額(項番129)の値より大きい場合、第3期の概算保険料額(項番129)の値を記載する。 ただし、計算結果が0未満の場合は0とする。 充当意思(項番271)が2の場合、0を記載する。	充当意思(項番271)が未入力、または1の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値が、第3期の概算保険料額(項番129)の値より小さい場合、下記の計算結果と等しくない 充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値	(22)期別納付額／第3期／(ヲ)労働保険料充当額が正しくありません
		第3期の労働保険料充当額			充当意思(項番271)が未入力、または1の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値が、第3期の概算保険料額(項番129)の値より小さい場合、下記の計算結果と等しくない 充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値	(22)期別納付額／第3期／(ヲ)労働保険料充当額が正しくありません

94	130				当額(項番126)の値が、第3期の概算保険料額(項番129)の値より大きい場合、第3期の概算保険料額(項番129)の値と等しくない	
95	130	第3期の労働保険料充当額			<p>充当意思(項番271)が3の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値が、第3期の概算保険料額(項番129)の値より小さい場合、下記の計算結果と等しくない</p> <p>充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値</p>	(22)期別納付額／第3期／(7)労働保険料充当額が正しくありません
96	130	第3期の労働保険料充当額			<p>充当意思(項番271)が3の場合で、充当額(項番113)の値 - 全期又は第1期の労働保険料充当額(項番118)の値 - 全期又は第1期の一般拠出金充当額(項番121)の値 - 第2期の労働保険料充当額(項番126)の値が、第3期の概算保険料額(項番129)の値より大きい場合、第3期の概算保険料額(項番129)の値と等しくない</p>	(22)期別納付額／第3期／(7)労働保険料充当額が正しくありません
97	130	第3期の労働保険料充当額			充当意思(項番271)が2の場合、0以外	(22)期別納付額／第3期／(7)労働保険料充当額に0を入力してください
98	131	第3期の納付額		<p>計算式に含まれる項目が未入力の場合、四則演算を行わない。</p> <p>第3期の概算保険料額(項番129)の値 - 第3期の労働保険料充当額(項番130)の値</p>	<p>下記の計算結果と等しくない</p> <p>第3期の概算保険料額(項番129)の値 - 第3期の労働保険料充当額(項番130)の値</p>	(22)期別納付額／第3期／(7)第3期納付額が正しくありません
99	134	加入保険_労災	項番134と項番135にて、いずれかに記載が必要			
100	135	加入保険_雇用	項番134と項番135にて、いずれかに記載が必要			
101	136	<p>特措事業</p> <p>(イ)該当する</p> <p>(ロ)該当しない</p> <p>のいずれかを入力</p> <p>※ただし、かっこは半角、カタカナは全角で記載のこと</p>				